

令和 7年度 中学部 2年（ 訪問教育Ⅱ課程 ） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者
17.5	2名	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(中1段階) (思判表力) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。(中1段階) (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) 簡単な文や文章を読むことができる。【中1段階、言葉の特徴や使い方 7(イ)(ウ)(エ)(カ)(キ)】 (思判表力) 情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中1段階、読むこと 7・1】 (学・人) 文や文章の内容を読み取る態度を養うことができる。【中1段階目標7】	(知・技) 情景・場面・心情・時間の経過を表す語句に着目して読もうとしている。 (思・判・表) 文や文章の概略をとらえ、情景・場面・心情を表す語句について説明しようとしている。 (主学) 文や文章を読み取ろうとする意欲をもって学習に参加しようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	○説明文。 ○物語、絵本。 ○詩。 ○様々な文や文章、資料などの読み取り(新聞、雑誌、メール、その他文字で書かれた素材) (4～7月)	○挿絵が少なく、文字量がやや多めな文や文章の朗読、黙読、聞き取り。 ○場面の様子の変化を表す語句の抽出、意味の確認。 ○人物の行動と心情を表す語句の抽出、読み取り。 ○時間を表す語句、接続語などの抽出、文や文章の構造や展開の確認。
		(知及技) 長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を知ることができる。【中1段階7(ウ)】 (思判表力) 長音、拗音、促音、撥音、助詞を用いて語や文を構成することができる。【中1段階1】 (学・人) 言葉を丁寧に読んだり書いたりする態度を養うことができる。【中1段階】	(知・技) 長音、拗音、促音、撥音、助詞を正確に読み書きすることができる。 (思・判・表) 日常的な言葉(出来事、事物、経験)を発したり書いたりする際に既習内容に応用することができる。 (主学) 主体的かつ丁寧に文字を読み書きしようとする意欲を示すことができる。	○長音、拗音、促音、撥音が含まれた言葉の練習。 ○助詞「は」「へ」「を」などの音読、視写、聴写など。 ○平仮名・片仮名・自分や身近な事物の名前を書くこと。 (4～7月)	○長音、拗音、促音、撥音のある語句や文の音読、視写、聴写など。 ○日常的な言葉(出来事、事物、経験)の意味を確認し、生活場面や伝える相手に応じた文字や言葉の使い方などを反復練習すること。
2 学期	7.5	(知及技) 事柄を思い浮かべて列挙することができる。【中1段階1(7)】 (思判表力) 思い浮かべた事柄の中から伝えたい内容を決めることができる。【中1段階、A1】 (学・人) 言いたいことを整理し、自分なりの表現で伝える態度を身に付けることができる。【中1段階】	(知・技) 「いつ・誰が・何をした」等の場面を整理することができる。 (思・判・表) 自分の興味や関心、感情等を挙げて発表の手掛かりとすることができる。 (主学) 自分の言葉で伝えようという意欲をもって学習に参加することができる。	○発表のトピックの確認、キーワードの選定。 ○自分の言いたいことを整理して伝えること(手紙、葉書、作文、発表など)。 ○相手の発言内容を汲み取ること。 (9～12月)	○「いつ・誰が・何をした」等を思い浮かべて発表の内容を決めること。 ○聞き手や話す目的を意識し、自分の興味関心、感情等を手掛かりにして話題を決めること。 ○発表者の話をよく聞き、ワークシートにキーワードを書き留めて短文を整理すること。
		(知及技) 話をする時の発声方法を理解することができる。【中1段階7(イ)】 (思判表力) 場面に応じて発音や声の大きさに気を付けて話することができる。【中1段階、A1】 (学・人) 人前で言葉を発する姿勢を示すことができる。【中1段階】	(知・技) 話をする際に必要な声量と発音の仕方を身に付けることができる。 (思・判・表) 聞き手がいることを意識し、適切な発声で話すことができる。 (主学) 意欲をもって学習に参加し、発声練習に取り組むことができる。	○文章や詩の音読。 ○出来事の発表。 ○メモや絵や写真などを手掛かりにして話すること。 (9～12月)	○場面に応じた声量での会話。 ○姿勢や口形を意識した発音。 ○絵や写真で示された事物を言葉で表すこと。
3 学期	4	(知及技) 様々な表現方法を理解することができる。【中1段階7(7)(イ)(ウ)(エ)】 (思判表力) 語句のまとまりを意識し、様々な表現で話したり書いたりすることができる。【中1段階、B7・イ・ウ・エ・オ、C7・イ・ウ・エ】 (学・人) 様々な言葉を学ぼうとする意欲をもつことができる。【中1段階】	(知・技) 様々な語句の意味を確認し、生活場面を想定して使用することができる。 (思・判・表) 学習した語句を用いて作文や発表をすることができる。 (主学) 言語を習得するために意欲的に学習に取り組み、反復練習をすることができる(視写、聴写など)。	○視写・聴写(平仮名・片仮名・漢字・ローマ字・句読点など)。 ○生活用語、外来語、擬音語、擬態語、数量、気持ちを表す語など。 ○同義語・対義語、上位語・下位語、同音異義語、多義語など。 (1～3月)	○様々な文字や符号を丁寧に書くこと。 ○自分や身近な事物の名前を書くこと。絵や写真で示された事物を言葉として書くこと。 ○使用する語句に関連する単語を確認し、概念を理解すること。
総時数	17.5				

令和 7年度 中学部 2年（ 訪問教育Ⅱ課程 ） 社会 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者
7	2名	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動、地域の産業と消費生活の様子及び身近な地域の様子の移り変わり並びに社会生活に必要なきまり、公共施設の役割及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、自分との関わりが分かるとともに、調べまとめる技能を身に付けるようにする。(中学部1段階) (思判表力) 社会的事象について、自分の生活や地域社会と関連づけて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う。(中学部1段階) (学・人) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。(中学部1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	(知及技) 地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることがわかること。(中1段階ウ(ア)イ) (思判表力) 地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時の備えや対応などにお着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え、表現すること。(中1段階ウ(ア)イ) (学・人) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。(中1段階)	(知・技) 地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることを理解しようとしている。 (思・判・表) 地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時の備えや対応などにお着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え、表現しようとしている。 (主学) 身近な社会に、自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚が芽生えつつある。 評価資料【ワークシート、質問や発表の様子】	・ロゴマークとピクトグラム ・地図記号 ・校外学習に向けて ・防災について (4～5月)	・ロゴマークとその名称をカードと照合しながら一致させる。 ・ピクトグラムとその名称をカードと照合しながら一致させ、実際校舎内のピクトグラムを探して確認する。 ・地図記号があらわす内容についてワークシートにまとめる。 ・散策しながら、学校周辺のミニマップを作成する。 ・校外学習の目的地(海洋博記念公園：本部町)について、学校からの道程、距離、地域の特色等について調べワークシートにまとめる。 ・インターネットや視覚教材で地域の状況や特色を調べる。 ・地震・津波など震災に備える事項について、インターネットや視覚教材を活用して調べ、ワークシートにまとめる。
2 学期	3	(知及技) 身近な地域や自分たちの市町村の様子、人々の生活は時間とともに、移り変わってきたことを知ること。(中1段階オ(ア)イ) (思判表力) 交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市町村や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。(中1段階Bオ(イ)イ) (学・人) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。(中1段階)	(知・技) 身近な地域や自分たちの市町村の様子、人々の生活は時間とともに、移り変わってきたことを知ること。 (思・判・表) 交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市町村や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現しようとしている。 (主学) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚が芽生えつつある。 評価資料【ワークシート、質問、発表の様子】	沖縄県の歴史・文化・行事、風習、衣食住、方言等 (9～11月)	・沖縄県独自の歴史、文化について調べ、ワークシートにまとめる。 (年中行事、旧盆、伝統芸能、食文化、住居、方言等)
3 学期	2	(知及技) 家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さがわかる。(中学部1段階ア(イ)イ) (思判表力) 社会生活のきまりとの関連を考え、表現すること。(中学部1段階ア(イ)イ) (学・人) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。(中1段階)	(知・技) 家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さを理解しつつある (思・判・表) 社会生活のきまりとの関連を考え、表現しようとしている (主学) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚が芽生えつつある。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	SDGs (1～3月) フィールドワーク(宇茂佐海岸ビーチクリーン)	・SDGsが誕生した経緯と意義についてインターネットや視覚教材を確認しながら調べ、ワークシートにまとめる。 ・SDGsの実践例について、インターネットや視覚教材を使って調べまとめる。(ゴミ分別、食品ロス、ビーチクリーン等) ・自身が実践可能なSDGsは何か考え、身近な実践例などの情報をもとに、具体的にどう取り組むかについて考える。
総時数	7				

令和 7年度 中学部 2年（ 訪問教育Ⅱ課程 ） 数学 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者
17.5	2名	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解思、事象を数理的に処理する技能を身につけるようにする。 (中1段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基本的・基礎的な数量や図形の性質等を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(中1段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用とする態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技)時間の単位(秒、分、時)について理解し、時計を読むことができる。(中1段階Cイ(ア)) (思判表力)日常生活における時刻や時間を求めることができる。(中1段階Cイ(イ)) (学・人)時刻や時間の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中1段階Cウ)	(知・技)時計から秒、分、時の乗法を読み取ることができる。 (思・判・表)一日の活動予定時刻を大まかに答えることができる。 (主学)時刻について課題に取り組み、提出・発表することができる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	時刻や時間	・時計の読み方 ・時計の針を合わせる。 ・一日の活動の大まかな時間
2学期	7.5	(知及技)三角形や四角形、箱の形などについて理解し、関係する名称を答えることができる。(中1段階Bア(ア)) (思判表力)基本的な形の特徴を捉え、それらを操作し、課題を解決することができる。(中1段階Bイ(ア)) (学・人)図形の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中1段階Bウ)	(知・技)形から図形の名称を答えることができる。(三角形、四角形、直角三角形、正方形、長方形、箱) (思・判・表)複数の図形の特徴からグループ分けすることができる。 (主学)図形の課題に取り組み、提出・発表することができる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	図形 ・丸(円)と三角形と四角形の特徴 ・色・模様・分類	・身近な形を見つけよう(丸・三角・四角) ・同じ色、同じ形、同じ大きさに分けてみよう ・探し物は、上(下)から何番目 ・物の場所を伝えよう前(後)から何番目
3学期	4	(知及技)身の回りにある数量を表やグラフにまとめることができる。(中1段階Dア(ア)) (思判表力)グラフや表から必要な情報を読み取ることができる。(中1段階Dア(イ)) (学・人)データの活用で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中1段階Dウ)	(知・技)与えられた情報から表やグラフを作成することができる。 (思・判・表)表やグラフから必要な情報を読み取ることができる。 (主学)データの活用に関する課題に取り組み、提出・発表することができる。 【評価資料】課題の達成度と活動の観察で評価する。	データの活用(3月)	・表の作成(個数調べ、誕生日調べなど) ・グラフの作成(棒グラフ、折れ線グラフ) ・表やグラフの読み取り(最大値、最小値など) ・グラフを用いた発表
総時数	17.5				

令和 7年度 中学部 2年（ 訪問教育Ⅱ課程 ） 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者
7	2名	

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)身の回りの生物、自然、気象や身の回りで起こる科学現象について気づき、観察、実験に取り組むことができるようにする。 (思判表力)身の回りの生物、自然、気象や身の回りで起こる科学現象の共通点や差異点に気づき、疑問を持つことができるようにする。 (学・人)身の回りの生物、自然、気象や身の回りで起こる科学現象について理解し、日常生活に活かすことができるようにする。【中学部1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技)身の回りの生物の様子について気付き、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中学部1段階) (思判表力)身の回りの生物の様子から、主に差異点や共通点に気付き、疑問をもつ力を養う。(中学部1段階) (学・人)身の回りの生物の様子について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養う。(中学部1段階)	(知・技)身の回りの動植物に興味を持ち、様々な場所で見つけようとし、これらの様子や周辺の環境、成長の過程などを理解しようとしている。 (思・判・表)身の回りの生物の姿や昆虫、植物の育ち方などについての違いや共通点を見つけようとしている。 (主学)身の回りの生物やその仲間について調べようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	身の回りの生物（春～夏）	・知っている植物や動物、興味、関心のある植物や動物の名前や特徴を発表する。 ・校内で春から夏にかけて見られる動物や植物を探索し、名前や特徴をプリントにまとめる。 ・農場で夏野菜の観察をし、名前や特徴をプリントにまとめる。 ・インターネットや視覚教材でいろいろな生き物の特徴を調べる。
2学期	3	(知及技)太陽と地面の様子について気付き、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(中学部1段階) (思判表力)太陽と地面の様子から、主に差異点や共通点に気付き、疑問をもつ力を養う。(中学部1段階) (学・人)太陽と地面の様子について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養う。(中学部1段階)	(知・技)太陽の光と日向、日陰の関係や、日なたと日陰では地面の暖かさに違いがあることなど、太陽と地面の様子との関係を理解しようとしている。 (思・判・表)影や日陰のできる位置や日なたや日陰の暖かさなどについての差異点や共通点を自ら見つけようとしている。 (主学)太陽と地面の様子について学んだことを、身の回りの中で見つけようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	太陽と地面の様子	・、建物によってできる日陰や物によってできる影の位置、太陽と日陰や影の位置について調べる。 ・光が当たっている地面と当たっていない地面の暖かさや地面の様子について調べる。（手で触れる、温度を測る） ・インターネットや視覚教材で太陽の動きや特徴を調べる。
3学期	2	(知及技)光や音の性質、磁石の性質及び電気の回路について気付き、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(中学部1段階) (思判表力)光や音の性質、磁石の性質及び電気の回路から、主に差異点や共通点に気付き、疑問をもつ力を養う。(中学部1段階) (学・人)光や音の性質、磁石の性質及び電気の回路について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養う。(中学部1段階)	(知・技)光や音の性質、磁石の性質、電気の性質や回路について理解しようとしている。 (思・判・表)光を当てたときの明るさや暖かさ、音を出した時の様子、磁石を身の回りの物に近付けたときの様子、乾電池と豆電球などのつながり方と乾電池につないだ物の様子などについての差異点や共通点を自ら見つけようとしている。 (主学)光や音の性質、磁石の性質及び電気の回路について学んだことを、身の回りの中で見つけようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	光や音の性質 磁石の性質 電気の通り道	・平面鏡などに日光を当てたときの、平面鏡の向きや光の様子について調べる。 ・光を当てたときの物の明るさや暖かさについて調べる。 ・身の回りにある物を使って音を出したときの物の震え方や音の大きさを変えたときの現象の違いについて調べる。 ・磁石を身の回りの物に近付けたときの物の様子や特徴について調べる。 ・二つの磁石を近づけ、磁石が相互に引き合ったり、退け合ったりする様子について調べる。 ・乾電池と豆電球などを導線でつないだときの、つながり方と豆電球などの様子について調べる。 ・回路の一部に、身の回りにあるいろいろな物を入れたときの豆電球などの様子について調べる。
総時数	7				

令和 7年度 中学部2年（ 訪問課程 ） 音楽 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数	児童生徒	担当者
7	2名	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身につけるようにする。【中学部1段階】 (思判表力) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。【中学部1段階】 (学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。【中学部1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技) 表したい音楽表現に身体表現の技能を身に付けるようにする。(中1段階Ⅰ(ア)) (思判表力) 音楽を味わって聴くことができるようにする。(中1段階Ⅱ) (学・人) 様々な音楽に親しみ、音楽経験を通して生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。(中1段階Ⅲ)	(知・技) 曲想と音楽の構造等の関わりについて知っている。 (思・判・表) 楽器の音色や楽曲の特徴や由来に興味を持って、鑑賞している。 (主学) 集中して観たり聴いたりすることができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・鑑賞 郷土の音楽について学ぼう (6月)	・協奏曲やオーケストラについて学ぼう「ピバルディ春」 ・様々な楽器の名称や音色を知ろう ・楽器の音色の特徴に気付いて鑑賞しよう
2学期	3	(知及技) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら意図を理解しながら曲の雰囲気合いそうな表現を工夫しようとしている。(中1段階Ⅰ(ア)) (思判表力) 曲の雰囲気と音楽の構造を意識して、音楽を味わう。(中1段階Ⅱ(ア)) (学・人) 音色や響きに気をつけて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能を養う。(中1段階Ⅲ(ウ)①)	(知・技) 音の長さやシンコペーションのリズムの違いに気をつけながら演奏しようとしている。 (思・判・表) 音の長さを知り、簡単な楽譜を見てリズムや速度を気をつけようとしている。 (主学) 協力して音楽活動を取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・器楽 (9～11月)	・楽器の選択 ・楽器の正しい奏法を学ぶ ・合奏を楽しもう ・速さの違いを感じて演奏しよう
3学期	2	(知及技) 鑑賞についての知識を得たり、曲や演奏のよさを見だして聴く。(中1段階Ⅱ(ア)) (思判表力) 曲の雰囲気と音楽の構造を意識して、音楽を味わう。(中1段階Ⅲ) (学・人) 様々な音楽に親しみ、音楽経験を通して生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。(中1段階Ⅳ)	(知・技) 曲の構造等の関わりについて知っている。 (思・判・表) 楽器の音色や鳴らし方に興味を持って、鑑賞している。 (主学) 集中して観たり聴いたりすることができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・鑑賞「舞台芸術」「好きな曲紹介」 ・iPadを使って調べ学習 (12月)	・舞台芸術について学ぼう (ミュージカル・オペラ・バレエ等) ・自分のおすすめしたい曲を紹介しよう「好きな曲紹介」 ・友達の好きな曲を聴いてみよう ・iPadを使って学習する曲を調べよう
総時数	7				

令和 7年度 中学部 2年（ 訪問教育Ⅱ課程 ） 美術 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者
7	2名	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけるようにする。(中1段階) (思判表力)造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。(中1段階) (学・人)楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができる。 (中1段階A(イ)) (思判表力)経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができる。 (中1段階A(ア)) (学・人)楽しく美術の活動に取り組むことができる。(中1段階ウ)	(知・技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、材料や用具を選んで使い表そうとしている。 (思・判・表)材料などを基に、発想や構想をしようとしている。 (主学)美術の活動に楽しく取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	「描く活動」(4月、5月) ・想像したことを表す ・モダンテクニック	・生徒にわかりやすく関心が持てる物語や詩を読み、思い浮かんだことを絵に表現する。画材は時間配分や生徒の実態に応じて選択。 ・モダンテクニックで偶然性の高い絵を作り、何が見えてくるか画面をよく見つめる。必要に応じ加筆するなどして、何が見えたか他者に伝えるようにしたり、発表したりする。友達の絵も鑑賞し、自分は何に見えるかなど見え方の違いを発表し合う。
2学期	3	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができる。 (中1段階A(イ)) (思判表力)造形的な特徴などからイメージをもつことができる。(中1段階共通(イ)) (学・人)楽しく美術の活動に取り組むことができる。(中1段階ウ)	(知・技) 表したいことに合わせて、材料や用具を選んで使い表している。 (思・判・表)顔の構成を学び、表情などイメージをもって表現している。 (主学)美術の活動に楽しく取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	「空間を飾ろう」 (11月、12月) ・つるすかざり ・つないでつくろう	紙粘土(ふわふわ軽い方)をちぎって団子や、好きな形をたくさん作る。爪楊枝に刺し、発泡スチロールにさして乾燥させた後着色。爪楊枝を抜いた穴からワイヤー(3メートルくらい)をとおし、全部通したら曲げて好みの形に仕上げる。パンチの扱い方も学習し、針金を切ったり先端を曲げたりする。展示は天井からつるす。できあがりのイメージを始めに写真などで見せ、どんな形に仕上げるかイメージして制作する。
3学期	2	(知及技) 表し方や材料による印象の違いなどに気付き、自分の見方や感じ方を広げる。(中1段階B(イ)) (思判表力)自分たちの作品や身近な造形品の創作などの鑑賞を通して、よさや面白さに気付き、自分の見方や感じ方を広げる。(中1段階B(イ)) (学・人)感じ取ったことや想像したことなどを話したり、他の生徒と共感する。(中1段階)	(知・技) 制作の振り返りなどを通し、好みの材料、色の違いなどに気付いている。 (思・判・表)制作振り返りなどを通し、自分の作品について気づいている。 (主学)自分や友達の作品を鑑賞し、表現の違いを楽しんだり、共感したりしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・鑑賞	・日本や世界で活躍した画家や、友達、自分の作品を鑑賞する。
総時数	7				

令和 7年度 中学部 2年（ 訪問教育Ⅱ課程 ） 保健体育 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者
7	2名	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身につけるようにする。(中1段階) (思判表力) 各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。(中1段階) (学・人) 各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な技能を身に付け、表現したり踊ったりすることができる。(中1段階Gア) (思判表力) ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階Gイ) (学・人) ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階Gウ)	(知・技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な技能を身に付け、表現したり踊ったりしようとしている。 (思・判・表) ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】【評価資料】活動の様子、感想発表で評価する。	Gダンス (6月)	○音楽やリズムと動き ・ 特体連体育大会で踊るダンスを覚える。弾む動きにねじる、回るなどの動きを入れて変化を付けたり、素早い動きやストップなどでリズムの変化をつけたりして続けて踊る。 ※ダンスは年間を通して指導する。
2学期	3	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階Eア) (思判表力) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中1段階Eイ) (学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階Eウ)	(知・技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行なっている。 (思・判・表) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして、最後まで楽しく運動している。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・ 球技 (バスケットボール) (11月)	・ 基本的な動きや技能 「基本的なボール操作」 シュート、パス (ゴール型) パス ・ 動画視聴 (オリンピック空手、友達が取り組む様子)
3学期	2	(知及技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けることができる。(中1段階Hア) (思判表力) 自分やグループの健康・安全について課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者につたえることができる。(中1段階Hイ) (学・人) 健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。(中1段階)	(知・技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 自分やグループの健康・安全について課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者につたえようとしている。 (主学) 健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養おうとしている。【評価資料】学習の様子、ワークシートで評価する。	H保健 (1月)	○気持ちが悪く、元気がないこと、具合の悪いところがないこと、などの心と体の調子がよい状態にあることを理解し実践しているか発問、観察等。 ○友達の体調の変化やけがをした際に、教師に伝えたりし、施設や用具の安全な使い方を知り、けがのないように気を付けて行動したりすることができるようにすること。 ○不安や悩みなどがあるときには、家族や教師、友達などと話したり、相談したりすること、友達と遊ぶこと、運動をしたり音楽を聴いたりすること、呼吸法を行うなどによって気持ちを楽にしたり、気分を変えたりすることなど心の健康について。 ※保健は年間を通して指導する。
総時数	7				

令和 7年度 中学部 2年（ 訪問教育Ⅱ課程 ） 職業・家庭 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者
7	2名	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)働くことに関する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中2段階) (思判表力)将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(中2段階) (学・人)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	(知及技)働くことの目的などを理解することができる。【中2段階Aア(ア)】 (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えることができる。【中2段階Aア(イ)】 (学・人)作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中2段階Aア(ウ)】	(知・技)働くことの目的などを理解しようとしている。 (思・判・表)意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えようとしている。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子	・ミーティング ・具体物の分類	○入退室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ○ペットボトルや缶などの具体物を分類
2 学期	3	(知及技)作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。【中2段階Aイ(ア)①】 (思判表力)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表することができる。【中2段階Aイ(イ)②】 (学・人)木工品製作に達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中2段階Aア(ウ)】	(知・技)作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解しようとしている。 (思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表しようとしている。 (主学)木工品製作に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子	・ミーティング ・具体物の分類	○入退室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ○ペットボトルや缶などの具体物を分類
3 学期	2	(知及技)職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解することができる。【中2段階Aイ(ア)④】 (思判表力)職業や職業生活、進路に関わることと自己の成長などについて考えて、発表することができる。【中2段階Cイ】 (学・人)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。【中2段階Aイ(イ)④】	(知・技)職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解しようとしている。 (思・判・表)職業や職業生活、進路に関わることと自己の成長などについて考えて、発表しようとしている。 (学・人)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫しようとしている。 【評価資料】活動の様子	・ミーティング ・具体物の分類	○入退室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ○ペットボトルや缶などの具体物を分類
総時数	7				

令和 7年度 中学部 2年 (訪問教育Ⅱ課程) 外国語 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者
7	2名	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。 (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技) 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりなどの働きがあることを感じ取ることができる。【中学部(1)ア(イ)】 (思判表力) 自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現することができる。【中段階(2)(ア)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技) 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりなどの働きがあることを感じ取ろうとしている。 (思・判・表) 自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現しようとしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。	【How many ?】 ・数を数えてみよう。 【I like blue】 ・好きなものや嫌いなもの ・【What color do you like?】 ・好きな色を聞いてみよう! (6月)	・「How many?」の疑問詞を使って、果物やキャラクターの数を尋ねたり数字を答えたりする。 ・具体物、イラスト(PP)や歌を通して、1～10までの数の言い方を教師と一緒に確認する。 ・じゃんけんプラスゲームを通して、英語で数字を発音する。 ・好きなものの言い方を知り、それらの表現を使って、たずねたり答えたりする。 ・果物、野菜、色、スポーツや食べ物などの簡単な単語の言い方を教師と一緒にPPや絵カードを使って確認する。 ・ゲームやプリントなどを使って既習した語句や表現を復習する。 ・ALTと一緒に既習した表現や語句を発音練習したり、ゲームやクイズ活動を通して英語に慣れ親しむ。
2学期	3	(知及技) 日本と外国の言語や文化に慣れ親しむことができる。【中段階(1)イ】 (思判表力) 身近で具体的な事物の様子や状態を簡単な語などや基本的な表現を用いて表現することができる。【中学部イ(イ)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階】	(知・技) 日本と外国の言語や文化に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 身近で具体的な事物の様子や状態を簡単な語などや基本的な表現を用いて表現しようとしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【季節の行事】 ・ハロウィン ・クリスマス 【Do you have a pen?】 ・おすすめの文房具セットをつくろう! 【What do you want ?】 ・ほしいものは何かな? (10, 11月)	・文字をなぞったり模写したりして感謝の思いを英文で作成し、相手にクリスマスカードを渡す。 ・既習した色と形の単語を使って、カードをデコレーションする。 ・ALTの話、写真や動画などの授業を通して外国の行事、食事や習慣などの異文化に触れる。
3学期	2	(知及技) 基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝えることを感じ取ることができる。【中段階ア(ウ)】 (思判表力) 身近で具体的な事物に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付けることができる。【中段階(3)ア(イ)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技) 基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝えることを感じ取ろうとしている。 (思・判・表) 身近で具体的な事物に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付けようとしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【Let's play cards】 ・好きな遊びを伝えよう。 【季節の行事】 ・バレンタイン 【This is my favorite place】 お気に入りの場所を紹介しよう。 (2月) 【1年間の振り返り】 (3月)	・天気や曜日の言い方を絵カードやPPで確認して発音練習する。 ・友達や好みについて伝えよう。 ・季節の行事に関する表現や単語を写真や動画を見ながら学習をする。 ・学校の中にある教室の名称や道案内の仕方を絵カードやPPで確認して発音する。 ・教師の発音を聞いて、写真(イラスト)から当てはまる教室を選ぶ。 ・学校のお気に入りの場所を友達に道案内する。 ・ゲームやプリントなどを使って既習した語句や表現を復習する。
総時数	7				

令和7年度 中学部 2年（訪問教育Ⅱ課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 /配当時数		対象生徒		担当者	
7		2名			
年間目標		・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期		・自分の考えや意見を相手に伝えるときともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすることができる。(B 主として人との関わりに関すること【相互理解・寛容】)	・感情のよみとり 絵本の場面を基に、人物の顔の表情からきもちや感情を推察し、互いに伝え合う。 ・私の気持ち、あなたの気持ちモニターに映る画像を見て、どんな気持ちか言葉や指さして答える。	・どんな気持ち (5月)	「この顔、どんなきもち」 ・徳永桂子「あっそうなんだ」の絵本 ・表情のピクトグラム(にこにこ、いらいら、だいすき、かなしいなど4種類くらい) 「これ、すき？」 ・モニター画像、ピクトグラムの共用 ・かわいいキャラクターやゲーム、毛虫や野菜など、すき、嫌いが表しやすい画像
	2	・我が国や郷土の伝統と文化を大切に、国や郷土を愛する心をもつことができる。(C 主として集団や社会との関わりに関すること【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】)	・沖縄戦や郷土の歴史に興味を持ち、学習へ取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・平和学習 ・沖縄戦 ・生き物を大切にする (6月)	・平和学習 ・慰霊の日に向けて沖縄戦の学習をし、郷土の歴史や、命の大切さについて再確認する。 ・復帰記念日に向け沖縄の歴史を学び、自らの生きる地域社会について興味をもつ。
2 学期		A 主として自分自身に関すること ・過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。【正直、誠実】	・学級会へ参加し、自らの行動を振り返り発言している。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・自分の良い所、友達の良い所さがし ・異性との付き合い方 友情、親愛 (9月)	・学年活動 ・校外学習のルール、マナー ・男女の違い(性教育) ・学年活動を通した行動を振り返る。学級単位のアクティブラーニングにより他者への理解を深める。
	3	・自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある行動をすることができる。(A 主として自分自身に関すること【節度、節制】)	・自分の生活をふりかえり、自分でできることを考えようとしている。 ・話し合い活動に参加し、自らの行動を振り返り発言している。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・「目ざまし時計」(教科書) ・「ほどよい距離感」 (10月)	・自分の生活をふりかえり、できること・もっとがんばれることについて考える。 ・教科書を読んで「よし子」さんの行動について皆で考える。 ・動画などを活用し、近づきすぎたら相手がどう思うか、友達との距離感の保ち方について考える。
3 学期	2	・相手のことを思いやり、進んで親切にすることができる。(B 主として人との関わりに関すること【親切、思いやり】)	・困った人を助けること、困っている相手の気持ちを考えることの大切さに気づこうとしている。 ・思いやりのある行動をしようとする心情が育まれたか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・「なにかお手つだいできることはありますか？」 ・「はしのうえのおかみ」(教科書) (1月)	・困っている相手の気持ちを考えることの大切さに気づく。 ・親切とは何か。
総時数	7				

令和 7年度 中学部2年（ 訪問教育Ⅱ課程 ）総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者
7	2名	

目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技)探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に係る概念を形成し、探究的な学習の良さを理解できるようにする。 (思・判・表)実社会や実生活の中から疑問を見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができるようにする。 (学・人)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	(知・技)情報を集めたり発表したりすることで、自分の生き方と社会との関わりや仕組みを捉えることができる。 (思・判・表)地域社会の自然など、比較・分類・関連付けなどをしながらまとめ・表現することができる。 (学・人)他者と協働して粘り強く考え、力を合わせて活動することができる。	(知・技)情報を集めたり発表したりすることで、自分の生き方と社会との関わりや仕組みを捉えようとしている。 (思・判・表)地域社会の自然など、比較・分類・関連付けなどをしながらまとめ・表現しようとしている。 (主学)他者と協働して粘り強く考え、力を合わせて解決しようとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	【探究課題】 「地域に生息する生きものの姿や自然など-地域のよさを伝えよう-」 (7月)	・校外学習を通して学んだことをポスターにし、発表しあう。 ・写真やパンフレット、新聞記事など、収集したものを素材として活用し、学びマップを作る。
2 学期	3	(知・技)地域の自然、文化、産業を知ることができる。 (思・判・表)経験したことを自分に生かし、比較・分類・関連付けなどをしながらまとめ・表現することができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持ち、聞くことができる。	(知・技)地域の自然、文化、産業を知ることができる。 (思・判・表)経験したことを自分に生かし、比較・分類・関連付けなどをしながらまとめ・表現することができる。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持ち、聞くことができる。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	【探究課題】 「地域の良さを調べよう-職業調べ-」 (9月)	・働くことの意味を考えたり、どのような職業があるのか、興味をもったりする。 ・地域にどのような仕事があるのか、校外学習や校内実習に向けて見学地を考える。 ・働くことや職業を自分との関わりで考えることができるようにする。
3 学期	2	(知・技)1年間の活動を写真やスライドを手がかりにこれまでの活動内容を振り返り、自分の生き方と社会との関わりや仕組みを考えて理解できる。 (思・判・表)地域社会や自分の生き方から問題を見つけ、新たな問いを立てることができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞くことができる。	(知・技)1年間の活動を写真やスライドを手がかりにこれまでの活動内容を振り返り、自分の生き方と社会との関わりや仕組みを考えようとしている。 (思・判・表)地域社会や自分の生き方から問題を見つけようとしている。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞こうとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	【探究課題】 「地域に生息する生きものの姿や自然、地域の良さ-未来の私に向けて-」 (3月)	・1年間の活動を動画や写真でふりかえり、実生活の中から疑問を立てる。 ・地域の特色に応じた課題として、自然や環境問題などにつなげられるようにし、未来のために今の自分ができることを考える。
総時数	7				

令和7年度 中学部 2年（ 訪問教育Ⅱ課程 ） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者
7	2名	

目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技)多様な他者と協働し、集団活動を通して、その意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする。 (思・判・表)集団や自己の生活、人間関係の課題を見つけ、解決するために自らの力で考えたり、話し合いをしたり、協力することができるようにする。 (学・人)自主的・実践的な集団活動を通して身につけたことを生かし、集団や社会における生活や人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
年間目標		【評価の観点】 ○よりよい生活を築くための知識・技能 ○集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 ○主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	【学校行事】儀式的行事 学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清らかな気分を味わい、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活への展開への動機づけとなるようにすることができる。	学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清らかな気分を味わい、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活への展開への動機づけとなるようにしようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	儀式的行事（4、7月） 「学期や学年の節目を迎えて」 ・入学式 ・1学期終業式	・儀式的行事にふさわしい服装や礼儀、マナーについて学び、気品ある行動の仕方を身につける。 ・新しい学期や学年への決意表明を考え、発表する。 ・行事参加への心構えや、行事を主体的に受け止め、自己の生活改善のきっかけにできるよう、準備の段階から指導を工夫する。
		【生徒会活動】 生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践することができる。	生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	生徒会活動 「新入生歓迎会」（4月） 「三育中との交流会」（6月）	・生徒の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにする。 ・集団としての意見をまとめる等の話し合い活動を重視する。 ・自分たちでまわりをつくって守る活動を充実する。 ・人間関係を形成する力を養う活動を充実する。
2学期	3	学級活動（2）エ 節度ある生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。	節度ある生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	学級活動（2） 「心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成」（9月）	・安全に関して、日常生活に潜む様々な危険を予測したり、問題解決の方法を話し合ったりする。
		学級活動（1）ア 学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することができる。	学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	学級活動（1） 「係活動を決めよう～学級内の組織づくりや役割の自覚～」（4、9、1月）	・集団としての意見をまとめる話し合い活動を重視する。 ・学級生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織を作り、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い、実践する。
3学期	2	学級活動（3）イ 社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することができる。	社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	学級活動（3） 「社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成」（9、12月）	・キャリアパスポートを活用し、学んだことを振り返りながら新たな学習や生活への意欲につなげる。 ・職業・家庭成果発表会などの取り組みを通して、適性や能力がどのように発揮され、社会における自分をどのように評価するのかといった自己有用感や自己肯定感などについて理解できるようにする。
総時数	7				

令和7年度 中学部 2年（訪問教育Ⅱ課程） 自立活動 年間指導計画

単位数 /配当時数		対象生徒		担当者	
35		2名			
年間目標		・個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を養う。 ・生徒の体の動きや保有する感覚、意思の表出の状態に応じて、適切な補助具や補助的手段を工夫し、有効的な活用を図る。			
学期	時数	単元・題材の目標	評価規準	内容区分、項目	単元・題材の活動内容
1 学期	10	・様々な活動や経験を通し、本人の興味・関心の幅を広げる。 ・活動内容やスケジュールに見通しを持ち、落ち着いて行動できる。	・活動に興味をもって取り組み、成就感を味わっている。 ・活動を自己選択、自己決定をし、取り組んでいる。 【評価資料】学習の状況の観察による評価。	1 健康の保持 (1)生活のリズムや生活習慣の形成に関すること (2)病気の状態の理解と生活管理に関すること (3)身体各部の状態の理解と養護に関すること (4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。 (5)健康状態の維持・改善に関すること 2 心理的な安定 (1)情緒の安定に関すること。 (2)状況の理解と変化の対応に関すること。 (3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服すること。	「自立活動の時間における指導」の中で以下ア～ウの指導を年間を通して行う。 ア 担任とのラポートを築き、本人が安心した状態で過ごせるよう、好きな活動を用意する。 イ 無理のない程度に新しい場所や活動を行い幅を広げていく。 ウ 様々な活動をする。教師との対話や環境の調整により気持ちをコントロールする。
2 学期	17		・活動に興味をもって取り組み、成就感を味わっている。 ・活動を自己選択、自己決定をし、取り組んでいる。 【評価資料】学習の状況の観察による評価。	3 人間関係の形成 (1)他者との関わりの基礎に関すること。 (2)他者の意図や感情の理解に関すること。 (3)自己の理解と行動の調整に関すること。 (4)集団への参加の基礎に関すること。 4 環境の把握 (1)保有する感覚の活用に関すること。 (2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。 (3)感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。 (4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。 (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。	
3 学期	8		・活動に興味をもって取り組み、成就感を味わっている。 ・活動を自己選択、自己決定をし、取り組んでいる。 【評価資料】学習の状況の観察による評価。	5 身体の動き (1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。 (2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること。 (3)日常生活に必要な基本動作に関すること。 (4)身体の移動能力に関すること。 (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。 6 コミュニケーション (1)コミュニケーションの基本的能力に関すること。 (2)言語の受容と表出に関すること。 (3)言語の形成と活用に関すること。 (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。 (5)状況に応じたコミュニケーションに関すること。	
総時数	35				